

平成24年第6回周南市議会定例会一般質問通告一覧表
(平成24年9月6日～9月11日)

1 坂本心次（顕政会）

1 ぬくもりのある地域の景観形成について

- (1) 心待ちにしている市民協働の景観形成とは何か。
 - ア 10月1日以降、宅地における行為の規制があるが、建築行為に対してどのように取り組むのか。
 - イ 周南市景観まちづくり活動支援事業の取り組み状況と今後の展開について
- (2) 都市計画道路榎浜久米線が、平成25年度に開通する。周南市の東の顔として、新たな街路空間に壮大な景観づくりが盛り込めないか。
- (3) 周南緑地公園の美しい景観を総合的に保つ必要があるのではないか。
 - ア 徳山自動車学校の跡地について、取得後に速やかな利用を図るべきではないか。
 - イ 早急な駐車場整備が必要ではないか。

2 立石 修（顕政会）

1 周南市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について

- (1) 恋路クリーンセンター、周陽環境整備センター、ごみ燃料化施設について、市としての見解を問う。
 - ア 恋路クリーンセンターは平成7年、周陽環境整備センターは平成6年、ごみ燃料化施設は平成11年から供用開始したことから老朽化がかなり進んでいる。今後、3カ所の施設ごとに更新を検討するのか、または統一する方向での更新を検討するのか。
 - イ 施設を統一することにより、ごみ処理にかかるコスト削減が図れるのではないか。現状のごみ処理コストは幾らか。また、統一した場合の試算ごみ処理コストは幾らか。

2 安心安全対策について

- (1) リサイクルプラザの施設並びに管理・運転について
 - ア 複数の事故が発生しているが、当初設計に問題はなかったのか。
 - イ 事故再発防止のために設備の全数チェックを実施すべきではないか。
 - ウ 管理・運転マニュアルの見直しをしたか。
 - エ 運転管理体制は。
 - (ア) 安全・衛生管理体制はどのようになっているのか。
 - (イ) ひやりハット運動、危険予知訓練などを含めた安全教育は実施されているか。
- (2) (仮称)西部道の駅は避難所としての位置づけはどうなのか。
 - ア いつ、どのような会議等で避難所に決めていくのか。
 - イ 避難する住民のエリアはどこまでか。
- (3) 携帯電話の不感地域(鹿野地域の一部)の解消に向けた取り組みは進んでいるか。

3 土屋晴巳（新誠会）

1 西部道の駅（仮称）整備事業の進捗状況について

(1) 本事業の供用開始は平成26年春であり、あと1年半となった。そこで、「周南市西部道の駅基本計画」に基づき、以下について問う。

ア ハード事業について（事業スケジュールに基づく）

(ア) 建築・造成設計の完成時期は。

(イ) 簡易パーキング（駐車場）設計とトイレ等の設計の進捗状況は。

(ウ) 親水空間の実施主体は県ではあるが、道の駅全体の建設・造成計画との連動は図られているのか。

イ ソフト事業について

(ア) 「西部道の駅管理運営体制検討協議会」が設立され、管理運営体制について検討がされていると聞かすが、どのような方向性が出たのか。

(イ) 道の駅の運営は収益性と公益性を有していると思うが、この相反する両面の関係について市の考えは。

(ウ) 現在の出荷者や西部道の駅直売所運営協議会は、新たな管理運営体制にどのようにかかわることになるのか。また課題はあるのか。

(エ) 生産者の育成、加工品・特産品の開発の進捗状況は。

(2) 道の駅プロデューサーの位置づけと権限は。また、ハード事業・ソフト事業にどのようにかかわるのか。

(3) 出入り口の変更に関して、以下について問う。

ア 施設規模に見合った敷地面積の確保及び国の駐車基準台数確保のため、市の用地の一部を国に売却することだが、売却額は決定したのか。

イ 出入り口は信号交差点となる。安全性の確保・渋滞緩和等の観点から近接する信号交差点を含んだ運用システムについて、市は把握しているのか。

2 救急救助体制の充実について

(1) 9月9日は「救急の日」である。救急救助体制のさらなる充実に向け、以下について問う。

ア 現在の救急救命士の配置状況は。また、計画的に育成されているのか。

(ア) 「気管挿管」・「薬剤投与」認定者状況と実施状況は。また、計画的に育成されているのか。

(イ) メディカルコントロール体制は順調に稼働しているのか。

イ 高規格救急自動車の配置状況は。また、計画的に整備されているのか。

ウ AEDを含む普通救命講習会の実施状況は。

4 岩田淳司（アクティブ）

1 持続可能なまちづくりについて

(1) 更新費用が40年で3,800億円を必要とする我が市の今後のまちづくりについて市長の展望を問う。

ア 試算したこの3,800億円のうち、道路、橋梁、小中学校、市営住宅、シセツ・カルテを策定している260施設などの内訳はどうであるか。

イ 上記には優先順位がどのようにしているのか。

ウ 投下できる金額及び優先順位によりおのずとこれから取り組むべきまちづくりが見えてくると思うが、どのように展望しているのか。また、それを受けて今まではどこまでアクションを起こしているのか。

2 河川氾濫などに対する市の考え方の発展について

(1) このたびもいわゆるゲリラ豪雨により周南市各所で浸水被害などが多く出た。これだけ毎年のように被害が出るようでは、市としてこれまでより発展させた考えが必要と思い、以下を問う。

ア 県・市が所管する水路河川の現状把握と公共下水の雨水計画は対応しているのか。

イ 開発行為では雨水調整池などの義務づけがあるが、そのほかではどうなのか。そういう工夫のある住宅建築に対する補助を行い、こつこつと水路河川への雨水流入量を減らす努力が要る時期ではないか。

3 日々進んでいる障害福祉施策について

(1) 24年度の法改正と、我が市の法定福祉サービスのスタートで「次」が見えてきたことにより以下を問う。

ア 将来の福祉サービスを利用したい者と開設事業所の需給バランスはどうか。

イ 直ちに来年度に事業所がふえていくと考えにくい、今年度を踏まえた次期以降の準備をどのようにしていくのか。

5 友田秀明（周南会）

1 周南市の災害対策について問う

(1) 防災行政無線施設の整備を急ぐべきと考えるが、いかがか。

(2) 富田地区のJR山陽本線以南では、避難場所がとんとん会館1カ所しかないが、この状況をどう思われているのか。さらに建物そのものに問題点はないか。

(3) (仮称) 学び・交流プラザは、完成後、富田地区の避難場所の核施設となると思うが、避難施設として十分に考慮された設計なのか。

(4) JR山陽本線以南の住民が、(仮称) 学び・交流プラザへ避難するときの経路は大丈夫か。

(5) 周南市が作成した富田川ハザードマップについて、見づらく区分けに問題があるのではないか。

6 長嶺敏昭（参輝会）

1 メガソーラー発電所誘致について

(1) ことし7月1日から始まった「電力全量買取制度」をどう評価しているか。

(2) 「入るをはかりて出るを制す」の観点から、周南市の市有遊休地や丘陵地などメガソーラー発電所誘致に適応できる土地資産はないか。

ア 東部浄化センター用地、周南市不燃物処分場埋立完了地、市有林、休・廃学校用地などは利用できないか。

イ 投資ゼロで20年間、発電量の3%相当の地代収入プラス固定資産税収入が見込めるが、遊休地の政策的活用に踏み切るべきではないか。

- (3) 好条件の制度も3年後には見直しがされることが予想される。この3年が最もメリットを享受できる期間だ。スピード感を持って取り組むべきものだと思うが、どうか。
- (4) 萩市ではメガソーラー発電所2カ所の誘致による歳入増とともに、業者から避難所へのソーラー発電・蓄電設備の無償支援も得られるようだ。周南市でも市民の安心・安全への支援も期待ができるが、どうか。
- (5) 遊休地へのメガソーラー誘致に可能性が低く、否定的であるなら、市有財産・遊休地の有効活用の具体的ビジョンを早急かつ明確に示すべきだ。
- (6) 民間の遊休地や後継者がいなくなり荒廃が必至の中山間地域農地の太陽光発電適地では、20年間の賃貸による農家の年金プラスアルファの不動産収入となる。農地の荒廃を防ぐ有効な手段として、農政としても制度の情報提供や指導が必要ではないか。

2 コミュニティスクールについて

- (1) 市内全域に組織され半年が経過するが、教育現場に変化は。(児童生徒、教職員、環境ほか)
- (2) 各学校で運営にばらつきもあろうが、教育長の理想に近づいているのか。課題はないか。

7 小林雄二（刷新クラブ）

1 新庁舎建てかえと新駅ビルについて

- (1) 前回、新庁舎建てかえは、はっきり言われたが、駅ビル解体後の建設方針がはっきりしない。それぞれの施設や機能をどうするのか全体的に考えていかななくては、過剰または過少な設備投資となるのではないかと提起した。そこで、以下について問う。
 - ア 庁舎周辺の公共施設の総合的な見直し、検討を言われているが、新庁舎との関連はどの程度整理されているか。
 - イ 駅ビル跡地検討業務委託がされているが、駅ビル建てかえ方針が出されてのことか。
 - ウ 庁舎建設基本計画策定業務委託がされているが、庁舎建設検討市民委員会の役割は何か。

2 周南市リサイクルプラザについて

- (1) 循環型社会構築を目指した処理施設として稼働し、市民の関心も高い。稼働後、火災の発生や電気事故と続いたが、克服し、設置目的である資源化機能と啓発機能の拡充をしていかななくてはならない。そこで、以下について問う。
 - ア 資源化の現状はどうか。最終処分場への搬入はどの程度減量化されてきているか。
 - イ 循環型社会へ向けての啓発機能としての活躍状況はどうか。

3 コミュニティスクールについて

- (1) 平成24年度から、市内全校にコミュニティスクールが施行された。家庭・地域・学校との教育コミュニティに大いに期待する。そこで、以下について問う。
 - ア 市内すべての小中学校にコミュニティスクールの名称が付されているのか。
 - イ 協議会規則に守秘義務があるが、いじめ問題への対応や取り組みも行われているのか。

ウ 特色ある学校づくりとしての予算は各学校一律的なものか。取り組み状況に応じたの予算措置はできるのか。

8 長谷川和美（周南会）

1 いじめについて

- (1) いじめ問題の現状は。
 - ア 小学校
 - イ 中学校
 - ウ 不登校対策事業の天津島ふれ愛スクールやくすのきラウンジ、あすなる熊毛は。
- (2) 各校のいじめ問題の取り組み状況は。
 - ア 定期点検をしているのか、またその頻度は。
 - イ 点検項目の作成は、学校独自で実態に即して作成しているのか。
 - ウ だれが点検しているのか。
 - エ 結果による課題の把握は、全教職員が共有できているのか。
- (3) いじめの実態把握に関するアンケート調査は。
 - ア 全児童・生徒を対象とした調査をしているのか。
 - イ その頻度は。
 - ウ 記名式か、無記名式か。
- (4) いじめの問題への取り組みについて、教育委員会としての指導方針は。
 - ア 定期点検やアンケート調査の実施による実態の把握及び学校への支援や保護者への対応の充実は。
 - イ 調査結果について、学校や保護者からのいじめの報告があった場合は、出席停止の手續に関する教育委員会規則は定めているのか。
 - ウ いじめを原因とする就学校の指定の変更や区域外就学を認めているのか。
 - エ いじめの問題に関する通知等の資料の活用やその趣旨の周知・徹底について、学校の取り組み状況を点検し、必要な助言は行っているのか。
 - オ 研修の実施や教師用手引書の作成や教育現場の取り組みの充実を図っているのか。
- (5) 各校や保護者からの相談を直接受けとめることができる教育相談体制の整備と相談窓口を準備しているのか。
- (6) 家庭や地域、関係機関と適切な連携協力を図る必要性は。

2 徳山駅南の浸水対策と災害時の避難経路として現在の南北地下道存続を

- (1) 徳山駅南口周辺の浸水の現状と対策は。
- (2) 住崎町、千代田町、権現町等駅南の住民の災害時の避難場所と避難経路は。
- (3) 現在ある南北地下道は、駅南の住民の高台への緊急避難経路として、ぜひ存続させるべきではないか。

9 島津幸男

1 我が周南における雇用確保に対する具体的な取り組みを問う

- (1) 雇用を取り巻く環境として

- ア 海外流出、工場閉鎖等の実情をどのように捉えているか。
- イ 新卒者、高齢者、障害者、外国人別の雇用・失業状態は。
- ウ 周南全体の失業率、失業者数は。
- エ 企業内失業を表す雇用調整助成の実情は。

(2) 具体的な雇用確保対策として

- ア 来年度就職を目指す新卒者の雇用確保のための具体的行動は。
 - (ア) トップセールスの実施
 - (イ) 市関係の就職先拡大
- イ 中・長期対策の立案は。
 - (ア) 雇用拡大対策本部の設置
 - (イ) 次代の新産業に向けた人材育成
 - (ウ) 海外を含めた企業誘致活動

10 伴 凱友（周南会）

1 熊毛地区の上水道について

(1) 事業概要と費用について

- ア 配水池はどこになるのか。
- イ 基本配水管の長さは幾らか。
- ウ 給水の地区別供給順序は。
- エ 費用はどれだけかかるのか。
- オ 各家庭の個人負担はどれだけ必要か。

(2) 水利権の詳細について

- ア 周南市の獲得した水利権は水道用水のみか。
- イ 中山川ダムから放流した水量分か。
- ウ 池に引く水、小水力発電用水等の住民個人及び団体の使用は許されるのか。
- エ 島田川支流に対する水利権は。
- オ 農業用水の水利権は、従前どおりか。

2 都市計画区域の見直しについて

- (1) 熊毛地区へ都市計画税を課税する条例が6月議会で可決されたが、指定された用途地域は実態とかけ離れ過ぎている。見直すべきではないか。

3 熊毛地区の消防訓練はこれでよいか

- (1) いまだ管轄の消防署が光地区消防組合である。住民と消防団と消防署の連携が進む手だが必要であるが、どのように考えているか。

11 青木義雄（参輝会）

1 徳山駅周辺整備について

- (1) 駅ビルの内容の検討も大事だが、もう少し大きくとらえ、新庁舎建設等も含めて文化会館・動物園までのラインを周南市の大動脈として、どのようなデザインにするのか。他市にない優位性をフルに反映した周南市の顔としての方向性、考え方やコンセプトを市民全

員が共有する必要があるのではないか。

- (2) 徳山駅周辺整備と新庁舎建設等とともに膨大な事業費を伴うことになる。未来に残す最大の基軸づくりと心得るが、これらを個別に展開することは、市民の理解を得られにくいのではないか。見解を問う。
- (3) 橋上駅舎と南北自由通路の建設工事は順調のようだが、膨大な事業費がどれだけ縮減できるかが大きな課題の一つと認識する。事業費縮減の見込みはあるのか。

2 中心市街地活性化について

- (1) 現在、駅周辺整備事業が進行中だが、駅西側にある多数の商店街を含めた活性化につなげていくことが重要である。また、これらの商店街と交わり隣接する形態で、かつて人口比率で日本一とまでうたわれた平和通や昭和通の飲食街まで含めた活性化の検討が必要ではないか。
- (2) 駅周辺整備と新庁舎建設等が全体としてどのように中心市街地活性化につながり、波及するのかという視点が今後必要ではないか。見解を問う。
- (3) コンベンションシティーの推進は、ホテル・飲食・お土産等、多様な商業施設を有する中心市街地活性化の起爆剤になっていくように進めていくことが不可欠ではないか。これまで以上に踏み込んだ工夫や連携が求められると思うが、どのように取り組むのか。

1 2 相本政利（公明党）

1 通学路の交通安全の確保について

- (1) 本年8月末完了をめどに実施している「子供の安全を守る」を基調とした小学校の「通学路における緊急合同点検」結果及びその対応状況を問う。
 - ア 近年の通学時交通事故状況及びその内容は。
 - イ 緊急合同点検の実施方法及びその結果は。
 - ウ 点検結果に対する対応状況及び対応計画は。特に以下について問う。
 - (7) 「通学路」を明確にしているか。
 - (4) 「抜け道」に対する対応はとられているか。
 - エ 今回の点検を継続的な安全対策とするために条例の制定または改正を検討してはどうか。
- (2) 中学校の自転車通学の安全確保について問う。
 - ア 自転車通学の事故状況及びその内容は。
 - イ ハード面的な通学路の点検や整備の状況は。
 - ウ ソフト面的な自転車安全教育の取り組みや自転車保険加入等の取り組みは。

2 しゅうなんマイスター表彰事業への取り組みについて

- (1) 「産業活性化・活力創造プロジェクト」にある「しゅうなんマイスター表彰事業」について市民周知を含めてその内容を問う。
 - ア 本事業のスタート経緯とその事業内容は。
 - イ 本事業目的について

- (フ) 卓越した技術者・技能者の認定及び表彰の状況は。
- (イ) 講演会等の活動を通じての人材育成の状況は。
- ウ 若者雇用や技術伝承につながる本事業活性化への取り組み方法と成果は。

1 3 金子優子（公明党）

1 いじめ問題について

- (1) 本市において、今までにいじめがあるとの報告があったか。また、そのときの対応は。
- (2) 大津市のいじめの事件の報道を受けて、新たに学校でのアンケート調査等の実施をされたか。また、その結果は。
- (3) いじめの撲滅を目指し、今後、市として取り組んでいく具体策はあるのか。

2 保育所の入所手続について

- (1) 公立・私立保育園の入所に伴う手続や各園の空き状況の情報など、入所希望者の側に立った対応を考えられないか。
- (2) 求職活動中の申し込みの手続についての簡素化は。

3 市営住宅における高齢者対策について

- (1) 市営住宅（中層住宅）の上の階に居住されている高齢者の住みかえの現状について伺う。
 - ア 上の階での生活が困難になった場合、現在の対応は。
 - イ 下の階への住みかえ希望の申し出はあるか。
- (2) 中層住宅へのエレベーターの設置やバリアフリー化への取り組み状況と今後の方針について伺う。

1 4 清水芳将（新誠会）

1 徳山駅周辺整備事業の進捗と活性化に向けた施策について

- (1) 周南市が施行しようと考えている駅周辺整備事業のビジョンと範囲について
 - ア 総事業費120億から130億円とされている現状の事業項目を、改めて市民に明示すべきだと考えるがどうか。
 - イ 駅ビル跡地検討会の答申を受けて、検討業務を公募型プロポーザル方式により委託することのだが、敷地面積や概算事業費に変更のない中で、どんなプロポーザルが期待できるのか。
 - ウ 徳山駅周辺整備対策特別委員会において、駅西の駐車場用地や駅東の駐輪場用地も、徳山駅周辺整備事業における確定した事業用地だとの答えがあった。それならばなぜ、その事業用地の有効利用について検討が始まらないのか。
 - エ 駅周辺整備事業の進捗によって中心市街地を再活性しようという意気込みやビジョンが、本当に市の中にあるのか。
- (2) 活性化への柱となるべき周南市中心市街地活性化基本計画策定の進捗状況は。
 - ア 市として主体的に取り組んでいる項目はあるのか。
 - イ 国政が不安定な中で、内閣府の認定に向けた具体的な話し合いは進んでいるのか。

2 金剛山の住宅エリアにある持ち主が特定されていない白地について

- (1) 竹が生い茂り、近隣に迷惑がかかり続けている土地の所有者を特定し、適正な処置を行

- うのは、行政として当然の責務ではないのか。
- (2) 固定資産税の徴収もできていない事態や、土砂の崩落の危険性も放置するのか。
-

1 5 福田文治（参輝会）

1 市長の将来のまちづくりビジョンについて

- (1) 市長就任から1年3カ月が経過しようとしているが、いまだに市長の「まちづくり」ビジョンが見えないという市民の意見を聞く。市民にわかりやすく、周南市の未来像、展望を伺う。
- (2) 人口が減少し、税収が減少していく中であれもこれもではなく、費用対効果を考慮し、巨費を投じる事業は極力控え、現に必要な事業、今生活している市民が必要な事業に費やすことが必要と思うがいかがか。

2 新庁舎建設について

- (1) ことし3月議会で庁舎建設基金条例、基本計画策定等の予算を議決した。26年度基本設計、27年度実施設計、28・29年度建設工事、30年度供用開始と巨費を投じる事業にしては異常な速さである。そこで以下のことを問う。
- ア 厳しい財政状況の中、他の選択肢はなかったのか。
- イ 現在の総合支所機能はどうなるのか。
- ウ 人口減、職員数減となるが庁舎規模はどうなるのか。
- エ 巨費を投じることになるが、財政面でのシミュレーションはできているのか。
- オ 市民の理解はどのようにして得るのか。

3 動物園への動物の導入について

- (1) 象の導入に関してこれまでの経緯と今後の方針は。
- (2) リニューアルを進めていく上でも動物の確保は欠かせないものであるが、これからどのように対応していくのか。
-

1 6 吉平龍司（公明党）

1 消費生活センター業務について

- (1) これまでの消費生活センターの開設から今日までの相談業務内容や件数など年次推移は。
- (2) 消費者被害防止のために、庁内関係部署や各総合支所及び関係機関との連携はどうか。
- (3) 特に高齢者の消費者トラブルもふえてきている。被害防止への対応や関係機関との連携による消費者教育の取り組みの今後は。

2 熱中症対策について

- (1) 本市における近年の熱中症救急搬送の実態は。
- (2) 「無理なく・抵抗なく・自然体」の節電対策も含め、「公共施設クールステーション」の設置の考えはどうか。

3 緑の基本計画について

- (1) 都市緑化への市民参画、協働による市のイメージアップが望まれる。その具体的な取り組みは。
- (2) 都市景観や地域の防災性の向上にどう結びつけていくのか。

17 金井光男（公明党）

1 「義務付け・枠付けの見直し」に関する第1次・第2次一括法の施行を受けての本市の取り組みについて

(1) 「地域のことは地域で決める」ためには、周南市における問題の実情や、住民のニーズを詳細に把握する必要がある、最も身近な基礎的自治体の力量が問われていると認識するが、「義務付け・枠付けの見直し」に関する第1次・第2次一括法に対する認識と取り組む上での課題等基本的スタンスを伺う。

(2) 主だった各分野ごとの取り組みの進捗状況及び課題について以下のことを伺う。

- ア 公営住宅の入居基準及び整備基準
- イ 道路の構造の技術的基準
- ウ 図書館協議会の委員の任命・委嘱基準
- エ 公民館運営審議会の委員の委嘱基準

2 コンビニエンスストアとの業務委託について

(1) 各種証明書等の交付業務委託について、これまでの1社のみへの対応が、来年4月からはさらに2社新規参入し、業界大手3社が対応可能となる。本格的に対応を検討すべき段階に来ていると認識するが、本市におけるスタンスは。

(2) 税を含む各種料金のコンビニ収納実施へ向けた進捗状況及び課題等を伺う。

18 中津井求（新誠会）

1 市道岳陽大江線と国道2号との接続部の拡張について

(1) この路線の拡張は新市建設計画にも挙げられており、叶松・勝間ヶ丘・藤ヶ台の団地と勝間小学校の通学路となっているが、進捗状況を伺う。

2 ごみ収集場所の放置ごみについて

(1) ごみ収集場所の責任の明確化について伺う。

- ア モラル問題で片がつくのか。
- イ 強制的な権力が可能であるか。
- ウ 受益者が現状に対していかに改善するか。
- エ 市側がどう指導するか。
- オ 地域がどうやって解決できるか。
- カ 衛生問題に対して市の考えはあるか。
- キ いつも放置状態の場所への対策はあるか。
- ク 地域のボランティアの方に対し、市はどのように考えているか。

3 大津島巡航船利用方法の改善を

(1) 大津島行き巡航船の利用方法の改善について、市としての考え方を伺う。

19 田村隆嘉（刷新クラブ）

1 次の世代のためのまちづくりについて

(1) 産業活性化・活力創造プロジェクトにおいて、これまでの取り組みと今後の具体的な計

画、目標を問う。

ア 企業誘致について

イ 中小企業の振興について

ウ 周南ブランドの育成について

エ タウンマネージャー育成事業について

(2) 生活交通の活性化、利用促進について問う。

ア 利用者減少に対する要因分析と対策は。

イ 自家用車から路線バスへの転換を推進する施策は。

ウ 交通問題検討会と交通運営協議会を統合し、利用活性化の協議会を立ち上げて検討してはどうか。

2 支え合い、互いに助け合うまちづくりについて

(1) 地域コミュニティの充実に向けた施策について問う。

ア 自治会加入率向上のための取り組みは。

イ 自治会長の負担軽減策について

ウ 公民館運営に対する支援について

20 古谷幸男（顕政会）

1 リサイクルプラザについて

(1) すべての検証は終了したのか。今後の運営方針などについて問う。

2 徳山自動車学校跡地について

(1) 計画はどこまで進んでいるのか。今後の取り組みの予定は。

3 徳山駅周辺整備事業について

(1) 駅ビルは建てかえるのか。建てかえる目的は何か。

21 福田健吾（顕政会）

1 市長の考え方を問う

(1) 入札のあり方について問う。

ア 市が発注する公共工事に地元を優先していく考え方を持っているか。

イ 大型工事の場合、地元企業とのJVを組むのが適当と思うが基準を問う。

ウ 一括発注と分離発注があるが、それぞれのメリット、デメリットを問う。

エ 大手企業が落札する場合は、地元を下請として参入させることを努力目標ではなく明確に条件にすべきではないか。

(2) 中小企業の振興策及び技術力向上をどう考えているか。

ア 日本国を支えているのは多くの中小企業であるのは言うまでもない。技術力向上に対し、市としてどう取り組むのか。

イ 技術がないから市の工事を地元で施工できないという状況について解決していく意識を持っているか。

(3) 危機管理体制を問う。

ア 我が周南市に不測の事態が起きた際に、その情報伝達はきちんとできているのか。

2 2 中村富美子

1 介護保険料の軽減について

- (1) 4月から介護保険料が約30%引き上げられ、驚きの声が殺到したと思うが実態はどうだったか。
- (2) 自治体の独自減免を締めつける「3原則」(1、個別申請による判定を行い、収入のみに着目した要件で資産審査なしで減免を行ってはならないこと。2、減額のみで全額免除を行わないこと。3、財源は一般財源の繰り入れではなく保険料で賄うこと。)についてどう認識しているか。
- (3) 年間収入80万円以下というような生活保護基準以下で暮らす高齢者は、無年金などの生活保護受給者が介護保険料を生活保護費から支給されていることを見ても、本来なら保険料を免除すべきと思うがどう思うか。
- (4) 所得の少ない人ほど負担割合が高くなるという逆進性がある保険だが、一般会計から繰り入れをして保険料を軽減できないか。

2 リサイクルプラザのこの間の事故から教訓を引き出しては

- (1) リサイクル施設は火災を起こしやすい施設と言われている。プロポーザル方式で行ったが、ベルトコンベヤーは難燃性ではなく、熱検知器は1個も設置されていなかった。企画、提案が優れていたと言えるか。
- (2) 工事が完成し、社内検査を行い検査報告書をまとめているとのことだが、今回のケーブル発火事故はどのようなものか。検査項目数は。そのうち、市は何カ所の抜き取り検査をしたのか。
- (3) 今後の建設工事に関し、以下のとおり提案したい。
 - ア 請負業者と市間に第三者チェック機関を設置してはどうか。
 - イ 一括発注でなく分離分割発注にしてはどうか。

3 長田フィッシャリーナの使用料について

- (1) 72隻の係留場所があるがあきが目立つ。せっかくの施設なのに遊ばせているのはもったいないと、市民の声が相次いでいる。
 - ア 利用状況の推移は。
 - イ プレジャーボートの保有数の推移は。
 - ウ 近隣の同種の施設の使用料と比較してどうか。
 - エ 使用料を引き下げることにはできないか。

2 3 兼重 元 (新誠会)

1 行政評価の結果について

- (1) 平成23年度評価の結果から、事業の見直しの原則に立ってどう対応するのか。
 - ア 民俗資料展示室 (外部評価)
 - イ 尾崎記念集会所
 - ウ 新南陽保健センター
- (2) 平成22年度事業仕分けの結果を踏まえた対応方針から、これまでどう取り組んできた

のか。

ア 新南陽プール

イ 福川図書館

(3) 外部評価の公開を積極的に進めてはどうか。

2 指定管理者制度の現状について

(1) 本市がこれまで導入した公の84施設について

ア メリットとされる市民サービスの向上と、経費削減について、実態と成果の評価と見解を問う。

イ 制度導入による民間開放は進んだのか。

(2) 図書館の管理・運営に指定管理者制度を導入することについて、その可能性と評価を問う。

3 市が管理する公共施設への市退職職員の配置実態と関係公的機関への配置状況について

(1) 配置の基本的な考え方を問う。

(2) 現状と、その評価と見解を問う。

4 公共施設の統廃合・再配置について

(1) 24年度中に策定される以下の計画策定後のスケジュールを問う。

ア シセツ・カルテをもとにした「再配置（統合・廃止）計画」

イ 公民館・コミュニティセンターの「見直し整備計画」

(2) 本庁舎建てかえが具体化してきた。次に問う。

ア 「新市建設計画」で確認した、本地域の一体的かつ均衡ある発展を目指した「多極ネットワーク型都市の形成」は怎么样了のか。

イ 総合支所及び各支所の適正配置をどう描くのか。